

2020年度（令和2年度）

社会福祉法人 共生の里 事業報告書

（2021（令和3）年6月2日 令和3年度6月理事会 第1号議案 審議資料）

グループホーム共生の里	・・・1
心の駅北九州	・・・2
心の駅	・・・3
心の駅下関	・・・4
短期入所事業（GH共生の里・心の駅北九州・心の駅下関	・・・5
夢活動センター行橋	・・・6
夢活動センター秋桜	・・・7
夢活動センター苅田	・・・8
夢活動センター八幡	・・・9
夢活動センター下関	・・・10
相談支援事業所 共生の里	・・・11
相談支援事業所 心の駅北九州	・・・12
ゆくはし生活相談センター	・・・13
（生活困窮者自立相談事業・就労準備事業、家計改善支援事業、 福岡ライフレスキュー事業、認定生活困窮者職業訓練事業）	
無料定額宿泊所 キートス幸神	・・・14
訪問看護ステーション タック幸神	・・・15
介護事業所	・・・16
（グループホーム愛の家、有料老人ホーム虹の家、デイサービス虹の家、 訪問介護虹の家、ケアプランセンター虹の家）	

第1号議案 2020年度 グループホーム共生の里 事業報告書

作成者:金子 (090-9473-0355/E-mail:kanekokumiko@road.ocn.ne.jp)

田中 (080-4153-5236/E-mail:tanaka412@shirt.ocn.ne.jp)

1. 定員

48名
(内サテライト3名)

ホーム名	そよかぜ	第1	第2	第3	豊津	苺田
定員数	10名	10名	3名	5名	7名	10名
サテライト住居		行橋A				苺田A・B
定員数		1名				2名
前年度からの増減	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし

2020年度(令和2年)定員-48名(サテライト3名含む)(定員数は変更なし)

2. 職員体制

①管理者 1名 (兼務あり)

職員20名

②サービス管理責任者 5名 ④世話人 20名

常勤換算世話人必要人数 12.3名(実質13.1名) ③生活支援員 7名

⑤経理事務 1名 (職員体制は、変化なし)

常勤換算生活支援員必要人数 4.3名(実質4.5名)

3. 主な年間行事

*避難訓練-4月・10月(9月はホーム毎に対応)

*地域清掃活動-ホーム毎に参加(2~6月ヶ月毎)

※コロナウイルス感染症対策のため、行事は小規模で行い各ホームで対応(昼食会等)

4. 日中活動先

(各ホームに、重複者あり)

ホーム名	そよかぜ	第1	第2	第3	豊津	苺田	小計	割合
夢活動センター行橋	4名	3名	1名			2名	10名	20.0%
夢活動センター秋桜	6名	4名	2名	2名	2名	2名	18名	36.0%
夢活動センター苺田						2名	2名	4%
他B型就労継続支援等事業所		1名		1名	1名		3名	6.0%
A型事業所				1名	4名	1名	6名	12.0%
精神科病院デイケア	1名	2名	1名				3名	6.0%
障害者雇用		2名	1名	1名		2名	6名	12.0%
その他(就活中)(一般就労)						2名	2名	4.0%
小計	11名	12名	5名	5名	7名	12名	50名	

5. 障害支援区分

障害支援区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
人数	2名	2名	16名	14名	13名	1名	
前年度より増減	+1	-3	-5	+3	+3	+1	

*2019年度より、障害支援区分に関する研修を実施

令和元年度平均障害支援区分⇒2.53 令和2年平均障害支援区分 ⇒2.98 (前年度より +0.45増加・区分3以上が7名増加)

6. 入居率

令和2年度	ホーム名	そよかぜ	第1	第2	第3	豊津	苺田
グループホーム本体	平均利用率	95.4%	99.8%	99.9%	99.9%	93.9%	94.3%
前年度より増減		-1.50%	+3.5%	-0.10%	+0.10%	-1.50%	+10.2%

- 2019年度(令和元年)平均利用率⇒95.4% 2020年度(令和2年)平均入居率⇒96.7%(前年度より+1.3%) *前年度目標94%を超えることがで;
- 2020年度(令和2年)の入居者 ⇒6名(精神科病院2名)(自宅2名)(共同住居1名)(更生保護施設1名)
- 長期入院者の受け入れ 4名 *触法者の受け入れ 1名
- 2020年度(令和元年)の退居者 ⇒5名(高齢者施設1名)(アパート生活1名)(精神科病院1名)(他施設1名)(死去:看取り1名)

7. 研修報告

内部研修 - 理事長研修(役職者・常勤・非常勤対象)・触法研修・虐待防止研修・新人教育(接遇他)・感染症研修

外部研修 - 強度行動障害研修・苦情解決従事者研修

8. 最近の動向

・2021年度(令和3年)の補助金申請(福祉軽車両3人乗り)(AED)他

・入居率96%以上が目標

・医療観察(触法)・地域移行(長期入院)・障害支援区の高い方(平均2.5以上)積極的な受け入れ

・産前産後、育児休暇等、有休休暇消化の充実(育児1名取得・ワークライフバランス)

・職員の離職率は、0%を目標(離職率:2020年度実績5%)(1名/20名中)

・併設の短期入所の宿直体制で、外部事業所の協力を得ることができた

・実習生の積極的な受け入れと内容を充実させ新卒職員の獲得に繋げる

・新設の重度障害者支援加算に対応するため、研修に参加する

・行橋市役所障害福祉課へサテライト増員に向けての話し合いを継続している

・コロナウイルス対策を継続し、支援金を頂きました

・資格取得率(前年度85%→2020年度90%) 前年度より+5%増加

第1号議案 2020年度 グループホーム心の駅北九州 事業報告書

作成者:木下 真一
 連絡先:080-4696-0269
 アドレス:kokoroneoki.kinoshita@gmail.com

1. 定員 111名

ホーム名	心の駅北九州	第1	第2A	第2B	第3	第5	香月	森下	
定員数(増減)	20名(-)	20名(-)	13名(-)	9名(-)	10名(-)	5名(-)	20名(+6)	3名(+3)	
サテライト住居	レジオン幸神Ⅰ レジオン幸神Ⅱ	・パンシオンカネ	・南大浦 ・ドリームパレス	・シティパール西折尾 ・ダイナコトヒルズ	・フレスト千代ヶ崎 ・デュエル折尾	・ジュネパレス日吉 ・バラシオン折尾			
定員数(増減)	2名(+1)	1名(-1)	2名(-)	2名(-)	2名(-)	2名(-)	0名(-)	0名(-)	

2. 職員体制 (兼務あり)

	実人数(昨年度比較)	法定必置数(昨年度比較)	現在数(昨年度比較)	過不足(昨年度比較)
管理者	1 (-)	1 (-)	1 (-)	0 (-)
サービス管理責任者	7 (+2)	3.7 (+0.2)	3.7 (+0.2)	0 (-)
世話人	41 (+2)	25 (-)	29.7 (+3.4)	↑ 4.7 (+3.4)
生活支援員	11 (+2)	8.9 (+2.2)	9.6 (+1.8)	↑ 0.7 (-0.4)
事務員	4 (+1)			
調理員	3 (+1)			

※黒枠は指向上必要な職種
 ※実人数と常勤換算人数は異なる
 ※2021年度入職者を含めると常勤換算1.3名増加(必置数に対し4.3名加配)

3. 年間行事 防災訓練、消防訓練、食事会、バスハイク、バーベキュー、クリスマス会、少人数で茶話会など各ホームで実施。 *感染症予防のため大人数のレクは中止となった。

4. 日中活動先 *各ホームに重複者あり

ホーム名	心の駅北九州	第1	第2	第3	第5	香月	森下	計	割合
夢活動センター八幡	9	12	11	1	2	0	1	36	32%
他B型就労継続支援事業所	5	5	6	5	3	10	1	35	31%
就労移行支援事業所	0	0	0	0	0	1	0	1	1%
A型事業所	1	0	2	0	0	0	0	3	3%
生活介護事業所	1	0	1	1	0	0	0	3	3%
精神科病院デイケア	1	8	5	2	0	1	0	17	15%
障害者雇用(一般就労含む)	2	0	1	2	2	2	0	9	8%
その他(就活中など含む)	4	0	1	1	0	4	0	10	8%
総計								114	100%

5. 障害支援区分

ホーム名	心の駅北九州	第1	第2	第3	第5	香月	森下
なし・非該当(増減)	1 (-)	2 (+2)	2 (-)	0 (-2)	1 (-)	3 (-2)	0(-)
区分1(同)	1 (-1)	2 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0(-)
区分2(同)	10 (-1)	8 (-3)	5 (+1)	3 (-)	2 (-)	3 (-1)	0(-)
区分3(同)	6 (+1)	4 (-2)	6 (-)	4 (+1)	1 (-)	5 (-)	1(-)
区分4(同)	2 (+1)	3 (+1)	12 (+2)	3 (-)	3 (-)	3 (+1)	1(-)
区分5(同)	1 (-)	1 (+1)	0 (-)	2 (+1)	0 (-)	3 (-1)	0(-)
区分6(同)	0 (-)	1 (+1)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0(-)
精神障害者地域移行特別加算(同)	0 (+1)	3 (+1)	2 (+2)	2 (+2)	0 (-)	1 (-2)	0(-)
地域生活移行個別支援特別加算(同)	3 (-2)	2 (+1)	1 (-)	2 (-)	0 (-)	0 (-)	0(-)

6. 入居利用率

※各ホーム平均利用率

年月	利用率	心の駅北九州	第1	第2A	第2B	第3	第5	香月	森下
2020年4月～ 2021年3月	平均利用率 *小数点1位まで (前年度比)	93.2% (-1.8%)	88.6% (-3.5%)	95.8% (+3.8%)	88.0% (-7.7%)	99.0% (+5.5%)	100.0% (+4.2%)	75.5% (+18%)	86.6% (-)

“心の駅北九州全体”の年間平均利用率は 89.5 % (昨年比+1.6%) (定員×開所日数) ÷ 実利用人数の1年間の平均利用率

- ①. 退居者内訳 合計 19 名 (独居3名、入院 4名、他施設入所 1名、自宅 2名、行方不明 0名、ホーム間移動 7名、刑務所 1名、病死1名)
 ②. 新規入居者 合計 25 名 (独居 2名、精神科 8名、自宅 2名、特別支援学校 0名、他施設 2名、ホーム間移動 8名、その他3名)

7. 最近の動向

- ・2020年4月1日、香月ホーム定員14名から20名へ増床。
- ・2020年4月、第1ホームサテライトシティパール則松定員1名閉所。
- ・2021年1月、森下ホーム定員3名閉所。
- ・2021年1月、北九州ホームサテライトレジオン幸神Ⅱ定員1名閉所。
- ・コロナウイルス感染対策のため、見学や体験利用に繋がるケースが少なかった。
- ・入居者の高齢化やADL低下などを理由に適正ホームへの移動や退去が目立った。
- ・障害支援区分の平均値上昇や精神障害者地域移行特別加算の対象者が増えた。

第1号議案 2020年度 グループホーム心の駅 事業報告書

作成者:主任 吉村和也 確認:管理者 野見山敬司

TEL 093-616-9661 kokoronoeki.sannou@gmail.com

2021年3月31日付

1. 定員 43名

ホーム名	到津ホーム	山王ホーム	備考
定員数	20名	19名	前年度と同じ
サテライト住居名	・オアシス下津II ・ヤングハイツイアリス	・シャトレ白川町 ・タツノ山王ビル	前年度と同じ
定員数	2名	2名	前年度と同じ

2. 職員体制(兼務あり)

- ①管理者兼世話人 1名
- ②サービス管理責任者兼世話人 3名
- ③生活支援員兼世話人 4名
- ④世話人 18名
- ⑤法定必置数 管理者1名、世話人10.75名(常勤換算)、生活支援員3.37名(常勤換算)、サービス管理責任者2名 3/31現在

3. 年間行事 各ホームでの主な行事

4月花見、5月料理教室、6月防災訓練、7月七夕、12月クリスマス、1月初詣、2月バレンタイン

4. 日中活動先(各ホームに重複者あり)

△=+、▲=-

ホーム名	到津ホーム	山王ホーム	心の駅前年度比
夢活動センター八幡	3(4)名	7(8)名	▲2
他B型就労継続支援事業所	6(7)名	6(3)名	△2
就労移行支援事業所	0(0)名	1(1)名	前年と同じ
A型事業所	2(3)名	1(1)名	▲1名
生活介護事業所	1(0)名	0(1)名	前年度と同じ
精神科病院デイケア	1(1)名	0(1)名	▲1名
障害者雇用(一般就労含む)	6(5)名	4(4)名	△1名
その他(就活中)	4(3)名	1(2)名	前年度と同じ

()内は2019年度実績

5. 障害支援区分

△=+、▲=-

ホーム名	到津ホーム	山王ホーム	心の駅前年度比
非該当	1(0)名	2(1)名	△2名
区分1	0(1)名	1(0)名	前年度と同じ
区分2	9(10)名	6(13)名	▲8名
区分3	6(9)名	7(5)名	▲1名
区分4	6(2)名	4(3)名	△5名
区分5	0(0)名	1(0)名	△1名
精神障害者地域移行特別加算	1(0)名	0(2)名	▲1名
地域生活移行個別支援特別加算	1(0)名	3(1)名	△3名
平均区分	2.7(2.5)	2.6(2.5)	

()内は2019年度実績

6. 入居利用率

2020年度→心の駅 95.2(96.9)%

各ホーム平均利用率

年月	到津ホーム %	山王ホーム %	心の駅前年度比
2020年4月	100.0(98.5)%	95.1(99.8)%	
2020年5月	100.0(99.7)%	94.3(90.3)%	
2020年6月	99.7(99.7)%	87.3(94.8)%	
2020年7月	99.6(99.9)%	95.1(88.2)%	
2020年8月	98.7(99.6)%	93.1(89.0)%	
2020年9月	99.5(99.7)%	90.3(89.1)%	
2020年10月	99.9(99.9)%	83.1(89.7)%	
2020年11月	98.6(99.4)%	91.4(94.9)%	
2020年12月	90.3(99.7)%	95.2(94.9)%	
2021年1月	90.8(99.3)%	96.5(96.2)%	
2021年2月	92.0(99.8)%	100.0(99.8)%	
2021年3月	96.5(99.9)%	100.0(98.8)%	
年間平均利用率	97.1(99.8)%	93.4(93.9)%	95.2(96.9)%▲1.7%

()内は2019年度実績

- ①退去者内訳 合計8名(3名) 独居4(1)名、入院1(1)名、他施設2名、死亡1(1)名
- ②新規入居者 合計7名(4名) 精神科2(3)名、他施設5(0)名、自宅0(1)名

7. 最近の動向

- ・新型コロナウイルスの感染者が職員で2名出ていますが、引き続き感染予防・拡大防止に努めています。
- ・適性障害支援区分となるよう申請・更新内容を見直していきます。
- ・入居率93%の目標を継続していきます。
- ・オンラインを活用し、必要な内部・外部研修に継続して参加していきます。
- ・感染予防に努めつつ、実習生の積極的な受け入れと、実習内容を充実させ、新入職員獲得につながるよう取り組みます。
- ・2020年度は、精神障害者地域移行特別加算対象者が1名、地域生活移行個別支援加算対象者が3名入居になっています。
- ・強行行動障害者支援研修(基礎・実践)の受講を行っています。

第1号議案 2020年度 グループホーム心の駅下関 事業報告書

作成者 荒川 奈津枝
 電話番号 090-9651-4951
 アドレス kokoronoeki-mikawa@chorus.ocn.ne.jp

ホーム名	心の駅下関 三河ホーム	第二 三河ホーム	心の駅下関 吉母ホーム	サテライト三河 I	サテライト三河 II	サテライト三河 III
1. 定員 (35名)	20名	2名	10名	1名	1名	1名

心の駅下関 吉母ホーム 6/1開所 定員7名 → 12/1 定員変更 10名へ

2. 職員体制
- ①管理者、サービス管理責任者 2名
 - ②生活支援員 2名 法定必置数:常勤換算 1.4人 (前年度1.3人)
 - ③世話人 12名(うち2名はサビ管と兼務) 法定必置数:常勤換算 8.4人(前年度 5.8人)

3. 主な年間行事
- 8月、10月－町内清掃参加(三河・吉母ホーム)
 - 12月－お楽しみ会・クリスマス会(三河・吉母ホーム)
 - 11月、3月－避難訓練

4. 年齢構成

男性	20代	30代	40代	50代	60代	合計	女性	20代	30代	50代	合計
三河ホーム	1名	1名	6名	4名	9名	21名	三河ホーム	0名	1名	1名	2名
吉母ホーム	1名	0名	1名	2名	3名	7名	吉母ホーム	2名	0名	0名	2名
	2名	1名	8名	5名	12名	28名		2名	1名	1名	4名

5. 日中活動先(重複者あり)

夢活動センター下関	4名
他B型就労継続支援事業所	19名
A型事業所	0名
精神科病院デイケア	7名
障害者雇用・一般就労	5名
その他(通所リハ)	1名

6. 障害支援区分

非該当	3名
区分1	2名
区分2	11名
区分3	11名
区分4	4名
区分5	1名

平均区分 2.5 (前年度2.6)

7. 障害種別

	男性	女性
身体障害・知的障害の重複	1名	0名
知的障害	15名	1名
知的障害・精神障害の重複	2名	0名
精神障害	10名	3名

8. 入居利用率

前年度→97.8% 今年度→85.7%

	利用者数						利用率 (%)		利用者数						利用率 (%)
	心の駅下関 三河ホーム	心の駅下関 第二 三河ホーム	心の駅下関 吉母ホーム	サテライト三河 I	サテライト三河 II	サテライト三河 III			心の駅下関 三河ホーム	心の駅下関 第二 三河ホーム	心の駅下関 吉母ホーム	サテライト三河 I	サテライト三河 II	サテライト三河 III	
2020年4月	20名	2名	—	1名	1名	1名	98.2	2020年10月	19名	2名	5名	1名	1名	1名	85
2020年5月	20名	2名	—	1名	1名	1名	97	2020年11月	19名	1名	7名	1名	1名	1名	87.8
2020年6月	20名	2名	0名	1名	1名	1名	75.2	2020年12月	19名	2名	7名	1名	1名	1名	81.8
2020年7月	19名	2名	0名	1名	1名	1名	74.1	2021年1月	19名	2名	9名	0名	1名	1名	87.9
2020年8月	19名	2名	2名	1名	1名	1名	76.1	2021年2月	19名	2名	9名	0名	1名	1名	91
2020年9月	19名	2名	4名	1名	1名	1名	83.7	2021年3月	19名	2名	9名	0名	1名	1名	90.1

* 入院・外泊・空室分を除く (在室延べ人数)

平均 85.7%

- ①. 退居者 合計 3名
- ②. 新規入居者 合計 10名(三河1名、吉母9名)

9. 今年度実施事項

医療観察制度や虐待防止に関する職員研修を実施しました。

第1号議案 2020年度 短期入所 共生の里 事業報告書

1. (京築地区) 短期入所 共生の里 定員1名 (GH共生の里 併設型) 作成者:金子 久美子 (090-9473-0355/kanekokumiko@road.ocn.n

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	0名	3名	4名	4名	5名	24名
利用日数	4日	2日	4日	4日	11日	3日	3日	0日	6日	12日	9日	16日	74日
平均利用率	13.3%	6.5%	13.3%	12.9%	35.5%	10.0%	9.7%	0.0%	19.4%	38.7%	32.1%	51.6%	20.3%
平均障害支援区分	区分2	区分2	区分2	区分2	区分2	区分3	区分3	なし	区分3	区分3	区分2.8	区分2.8	区分2.3
国保連請求額	¥16,840	¥16,620	¥22,460	¥24,750	¥94,750	¥23,840	¥20,180	¥0	¥47,381	¥104,880	¥71,648	¥132,203	¥575,552

2020年度(令和2年度)月平均利用日数 = 6.1 日/月 (2020年(令和2年)4月開所の為、初年度の実績となります)

年間登録者数 ⇒ 11 名

障害種別(重複あり) = 精神 ⇒ 8 名 知的 ⇒ 1 名 身体 ⇒ 2 名 発達 ⇒ 2 名

<最近の動向>

- ・地域生活支援拠点整備の促進 ⇒2021年度、行橋市は登録制となる予定 ⇒登録を行います(緊急時加算あり 1,000円/日)
- ・障がい支援区分1~5の方が利用中 ・コロナ感染症対策で、短期緊急短期入所受入れ加算(1,800円/日)を頂いています
- ・法人内外の相談支援事業所や法人内B型作業所や近隣の病院から、短期入所の利用相談、見学が多いです
- ・月～金曜日までの宿直対応でしたが、最近は、週末希望も増加しています。法人内のB型作業所、介護施設職員の宿直応援体制が整っています
- ・2020年8月に、行橋市から虐待事案があり、緊急受入れ対応をしました ・パーキンソン病の方の受入れも継続中
- ・2021年3月から、半月以上の利用となり、数ヶ月先までの予約があります ⇒リピーターが多いです。

2. (北九州地区) 短期入所 心の駅北九州 定員1名 (心の駅北九州 併設型) 作成者:米丸 政史(090-9197-8417/orio2-yonemaru@ivy.ocn.ne.jp)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均利用率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均障害支援区分													
国保連請求額	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

2020年度(令和2年度)月平均利用日数 = 0 日/月

年間登録者数 ⇒ 0 名

障害種別(重複あり) = 精神 ⇒ 0 名 知的 ⇒ 0 名 身体 ⇒ 0 名 発達 ⇒ 0 名

<最近の動向>

- ・2021年4月より見学者増。昨年度はコロナの影響もあり利用実績がなかった。
- ・2021年4月末時点。1名契約、3件の見学、2件の問い合わせあり。

3. (下関地区) 短期入所 ショートステイ心の駅下関 定員1名 (心の駅下関 併設型) 作成者:荒川 奈津枝 (090-9651-4951/kokoronoeki-mikawa@

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0名	0名	1名	1名	1名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	4名
利用日数	0日	0日	3日	6日	5日	0日	5日	0日	0日	0日	0日	0日	19日
平均利用率	0.0%	0.0%	10.0%	19.3%	16.1%	0.0%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%
平均障害支援区分	なし	なし	区分3	区分3	区分3	なし	区分3	なし	なし	なし	なし	なし	区分3
国保連請求額	0円	0円	¥25,520	¥51,040	¥42,530	0円	¥42,530	0円	0円	0円	0円	0円	¥161,620

2020年度(令和2年度)月平均利用日数 = 1.6 日/月

年間登録者数 ⇒ 1 名

障害種別(重複あり) = 精神 ⇒ 1 名 知的 ⇒ 0 名 身体 ⇒ 0 名 発達 ⇒ 0 名

<最近の動向>

- ・地域生活支援拠点に関して、下関市は整備検討部会は設置済みではありますが、具体的な運用は定まっていません。
- ・2020年度はホームに空き室がなく、体験利用ができないため、待機登録目的で短期入所を利用されている方がいました。
- ・2021年度は家族が外出の際に利用をされる方がいらっやいます。

第1号議案 2020年度 夢活動センター行橋 事業報告書

作成者:宮本 光

1. 定員 35名
2. 職員体制 ①管理者 1名(サービス管理責任者 2名) ④生活支援員 6名(うち調理員・事務員 兼務 2名)
 (兼務あり) ②職業指導員 7名(うち栄養士・調理員 兼務 3名)
 ③目標工賃達成指導員 1名 2020年度 計15名 常勤換算10.7 法廷必置4.6
 2019年度 計20名 常勤換算14.7名 法定必置4.6
3. 年間行事 (主なもの) 4月-花見(合同)ウォーキング 11月-泊旅行中止
 5月-ソフトバレー大会中止 ソフトバレー大会中止
 6月-焼肉中止 12月-クリスマス会
 7月-バスハイク 中止 1月-初詣ドライブ
 8月-野球観戦中止 2月-小規模バスハイク
 10月-通常作業活動 3月-小規模バスハイク

その他毎月行事として、買い物外出、外食レク、ウォーキング、ヨガ教室、絵画教室等を行う。

4. 作業工賃額

2020年度				2019年度
延べ人数	工賃計	時給計算	月額平均額	月額平均額
586	9,100,937	592円	15,531	18,181円

5. 登録利用者数 2020年3月時点

ホーム名	そよ風	第1	苺田	在宅	計
契約者数	3名	4名	1名	59名	67名

GH8名:在宅59名=13%:88%

6. 利用率 2019度→ 105.0% 2020度→ 95.6% 100%=784名
 9886名 7710名 (前年度比2176名減)

7. 最近の動向

- ・年間を通して新規利用希望者が多かった。(ホーム、相談支援事業所、病院)
- ・病院や各機関と連携や情報交換会が機能して来ている状況である
- ・作業面では、市町村受託が順調に実施できている。また地域での仕事が順調に実績を積んでいる
- ・内職活動に代わる作業として試験的に甘ウイ農園やジャムの製造を行っている。
- ・仕事の受託の増加とスタッフ・利用者の方共に技術の向上が必要である。まだまだ追いついていない現状
- ・2019年1月に30名秋桜に移行/2020年4月に苺田開所し10名移行したが、1年かけ徐々に増加している。
- ・事業所移転を8月に実施予定で取り組んでいる。

第1号議案 2020年度 夢活動センター秋桜 事業報告書

作成 夢活動センター秋桜 四ヶ所優作
 TEL090-2858-2744
 Email yume.shikasyo@gmail.com

1. 定員 20名(昨年度と変更なし)

2. 職員体制 ①管理者(サービス管理責任者 兼務) 1名 ④生活支援員 2名(うち調理員・事務員 兼務 1名)
 (兼務あり) ②職業指導員 2名
 ③目標工賃達成指導員 1名 計6名 常勤換算3.8名 法定必置1.7

	法廷職員数(名)	常勤換算職員数(名)	配置充足数(名)
2020年度	1.7	3.8	2.1
2019年度(初)	2.4	4.2	1.8
前年度比	-0.7	-0.4	0.3

※法廷職員数等は、職業指導員・生活支援員・目標工賃達成指導員数をいう。
 ※初年度9割計算

3. 年間行事 (主なもの) 4月ーコロナにより中止 10月ー屋内イベント(ゲーム)
 5月ーコロナにより中止 11月ー近隣道の駅散策
 6月ーコロナにより中止 12月ークリスマス会
 7月ー屋内イベント(ミニゲーム) 1月ー初詣・餅つき
 8月ー屋内イベント(昼食・デザート) 2月ー新年会(施設内)
 9月ー屋内イベント(ミニゲーム) 3月ー花見BBQ(公園貸し切り)
 コロナ対策のため外出や屋内で密になる行事は中止、変更を行う。

毎月行事として、買い物外出、銭湯、スカットボール、ヨガ教室、絵画教室、ネイル教室等を実施。
 コロナ緊急事態宣言時は中止。

4. 作業工賃額

	工賃額	支給者数	臨時工賃	支給者数	福岡県報告分	
					1人あたり平均工賃額	昨年度
合計	1,932,168 円	279名	592,000 円	95名		
平均	161,014 円	23.3名	197,333 円	32名	10,555 円	8,189 円

5. 登録利用者数

ホーム名	そよかぜ	第1	第2、3	豊津	苅田	在宅		計
契約者数	6名	4名	4名	2名	2名	24名		42名
							年間延べ利用者数	3,909名
							月平均	325.8名
							1日平均	12.5名

利用率 72.7%
 (20名×22.4日×12か月=5376名=100%)

6. 利用率

	開所日数	利用延数	利用率	利用契約		利用率内訳	
				新規	終了	法人内	法人外
2020年度	311日	3909名	72.7%	10	1	43%	57%
2019年度	311日	3630名	67.5%	6	4	42%	58%
前年度比	0日	279名	5.2%	4	-3	1%	-1%

7. 最近の動向

- ・利用率は順調に増加傾向。各スタッフが支援力の向上を目標とし、利用者増加に繋げる。
- ・利用者増に伴い、作業提供量も増加しており、作業開拓を行っている。
- ・スタッフ増加に伴い、スタッフルームを改築。
- ・コロナ禍による施設内対策の徹底。スタッフで対策持続の意識を共有。
- ・4月よりスタッフ1名専従・3名兼務体制で自立生活援助事業を開始。1年で利用者数15名が目標。

第1号議案 2020年度 夢活動センター荏田 事業報告書

作成 夢活動センター荏田 飯田瑞紀
 TEL093-383-0075 / 080-3956-1871
 Email iida.mizuki32@gmail.com

1. 定員 20名

2. 職員体制 ①管理者(サービス管理責任者 兼務) 1名 (兼務あり) ②職業指導員 3名(うち事務員 兼務 1名) ③目標工賃達成指導員 1名 ④生活支援員 3名(うち調理員 兼務 1名)
 計8名 常勤換算5.2名 法定必置2.7

3. 年間行事 (主なもの) 4月ーコロナにより中止 5月ーコロナにより中止 6月ーコロナにより中止 7月ーセンター内映画鑑賞 8月ー作業・全体ミーティング 9月ー作業・全体ミーティング 10月ーバーベキュー(屋外店舗貸し切り) 11月ー作業・全体ミーティング 12月ークリスマス会 1月ー作業・全体ミーティング 2月ー節分豆まき 3月ー作業・全体ミーティング
 ・コロナ感染を懸念し、センター内のレクリエーション中心におこなう。

4. 作業工賃額

	工賃額	支給者数	臨時工賃	支給者数	福岡県報告分	
					1人あたり平均工賃額	昨年度
合計	2,297,477 円	122名	185,000 円	24名		
平均	191,456 円	10.2名	92,500 円	12名	20,348 円	

5. 登録利用者数

ホーム名	そよかぜ	第1	第2、3	豊津	荏田	在宅		計
契約者数	0名	0名	0名	0名	1名	13名		14名
							年間延べ利用者数	2,013名
							月平均	167.8名
							1日平均	6.5名

6. 利用率 $\frac{2020年度 \rightarrow 延べ人数}{2013}$ 37.4%

①新規契約者 16名
 ②契約終了者 2名 (就労継続支援A型事業所1名、就労移行支援事業所1名)

7. 最近の動向
 ・2020年4月に開所し、一年が経過。荏田在住の、夢活行橋利用者が移籍し、9名でスタート。コロナの影響もあり、新規利用者は緩やかに増加している。
 ・就労意欲のある利用者がほとんどで、レクリエーションよりも作業メインで活動を組んでいる。2年目以降は、作業内容の充実と、魅力ある活動で利用者の満足度アップを図る。
 ・困難なケースを抱えた利用者が多く通所している。職員の支援力向上が今後の課題。

第1号議案 2020年度 夢活動センター八幡 事業報告書

作成者：管理者 須山 進
 事業所電話番号 093-663-0155
 事業所メールアドレス qqtu6tw9k@abelia.ocn.ne.jp

1. 定員 30名

2. 職員体制

職名	配置数	常勤・非常勤	専従・兼務	配置基準数ほか	
①管理者	1名	常勤1	兼務	1名	
②サービス管理責任者	1名	常勤1	兼務	1名	
③目標工賃達成指導員	1名	常勤1	専従	1名	
④生活支援員	4名	常勤2・非常勤2	専従3・兼務1	常勤換算4名以上 (利用者7.5人に1人以上)	
⑤職業指導員	4名	常勤3・非常勤1	専従1・兼務3		
⑥栄養士・調理員	3名	常勤2・非常勤1	兼務3	(職業指導員と兼務)	実人員 計10名 (前年度末比1名減)
⑦事務員	1名	常勤1	兼務	(生活支援員と兼務)	

3. 年間行事 4月 - 花見ドライブ、12月 - クリスマスくじ引き大会、3月 - 花見ドライブ・消防訓練(避難・消火)
 ※新型コロナウイルス感染予防策として、例年行っていた年2回の日帰り旅行はじめ各種外出行事を休止。
 感染状況を見ながら、小規模な外出のみ実施した。(買い物・温泉・外食・図書館など)

4. 作業工賃額

	工賃額	支給者数	臨時工賃	支給者数	福岡県報告分	
合計	3,045,050 円	611名	1,003,600 円	173名	1時間当たり平均工賃額	昨年度
平均	253,754 円	50.9名	334,533 円	58名	333 円	351 円
前年度比	▲ 554,950		前年度比	▲ 688,100	1人あたり平均工賃額	昨年度
					6,556 円	8,371 円

5. 登録利用者数

ホーム名	第1	第2	第3・5	到津	山王	幸神	在宅	計
契約者数	12名	12名	3名	3名	7名	9名	15名	61名
年間延べ利用者数	1,682名	1,440名	336名	199名	1,132名	1,128名	2,184名	8,101名
月平均	140.2名	120.0名	28.0名	16.6名	94.3名	94.0名	182.0名	675.1名
1日平均	5.5名	4.7名	1.1名	0.6名	3.7名	7.4名	7.1名	26.4名

平均障害支援区分	2019年度末	2020年度末
	2.53	3.00

6. 利用率 2019(令和元)年度 → 105.0% 2020(令和2)年度 → 100.5% 100%=672名
 8,469名 8,101名 (前年度比 368名減)

年月	開所日数	利用延数	利用率	利用契約		利用率内訳	
				新規	終了	法人内	法人外
2020年度	307日	8,101名	100.5%	10名	10名	69%	31%

- ①新規契約者 10名 (第1 4名、第2 3名、山王 1名、在宅 2名)
- ②契約終了者 10名 (市内転居 4名、市外転居 1名、他事業所 1名、入院 1名、自己都合(在宅等) 1名、病死 2名)

7. 最近の動向

- ・新型コロナウイルス流行により、内職作業の発注量が激減、工賃額・利用者日数にも影響有り。
 (営業時間短縮や、平日午後・土曜日の作業提供数の減少に伴い、利用も減少)
 →平均工賃額も減少(1人当たり平均工賃額 6,556円(前年度比▲1,815円))
- ・年間を通してグループホームからの利用者が多いが、在宅利用の新規契約も増えつつある。
- ・法人の方針としてグループホームにて触法障がい・医療観察対象者の受け入れを積極的に行っており、夢活動センターでもホームや保護観察所・関係機関と連携しながら対応を行っている。(年度末対象者 5名)
 →上記利用者は、平成30年4月の報酬改定により「社会生活支援特別加算」が新設されている。
- ・作業面は、既存の内職作業(スポンジ袋詰・ラベル貼り・入力作業等)、外作業(ホーム居室・共用部清掃・マンション清掃)に加え、北九州共同受注センターあっせんの作業も積極的に受注・実施した。
- ・引き続き自主製品の開発に努め、共同受注センターや関係事業所からの紹介で販売会へ参加している。
- ・北九州市産業廃棄物対策課からの除草等作業の継続受託に加え、行政から単発の外作業も受注増。
 工賃の向上や利用率維持・向上のため、内職・外作業とも継続して新規開拓を行っている。

第1号議案 2020年度 夢活動センター下関 事業報告書 (就労定着支援事業を含む)

作成者:恒屋 直美

連絡先業務用携帯 : 080-9103-9897

PCアドレス : yume-shimonoseki@trad.ocn.ne.jp

1. 定員等 就労継続支援B型 : 定員30名(2020年7月~)定員変更による / 定員25名(2020年4~6月)
就労定着支援 : 利用者 4名(延べ利用者数 36名)

2. 職員体制 ①管理者(サービス管理責任者 兼務) 1名(常勤1名)
(兼務あり) ②職業指導員 4名(常勤 3名/非常勤 1名)
③生活支援員 6名(常勤 4名 / 常勤 1名 就労定着支援員兼務 / 非常勤 2名)
④目標工賃達成指導員 1名(常勤 1名) ⑤就労定着支援員 1名(常勤 1名 生活支援員兼務) 計8名

	法定職員数(名)	常勤換算職員数(名)	配置充足数(名)
2020年度	5.5	9.3	3.8
2019年度	4.3	7.7	3.4
前年度比	1.2	1.6	0.4

※法定職員数等は、職業指導員・生活支援員・目標工賃達成指導員数をいう。

3. 年間行事 4月-11月 テイクアウトランチ提供(レクリエーションに代わる活動) / 月1回
(主なもの) 12月-クリスマス会(DVD鑑賞・ボードゲーム・ビンゴゲーム / サンドイッチ類ランチセット提供)
1月-3月 テイクアウトランチ提供(レクリエーションに代わる活動) / 月1回
3月-避難訓練
○例年であれば、利用者からの意見をもとに月1回、日帰り旅行やカラオケなどの外出活動を実施しているが、新型コロナウイルス感染防止のため実施しなかった。それに代わるものとして、月に1回、浜勝(とんかつ)、ケンタッキー、吉野家などからテイクアウトし、感染対策をした上で食を楽しんだ。

4. 作業工賃額

	工賃額	支給者数	臨時工賃	支給者数	山口県報告分	
					1時間当たり平均工賃額	前年度
合計	6,147,930 円	584名	1,900,000 円	154名	315 円	295 円
平均	512,328 円	48.7名	633,333 円	51名	1人あたり平均工賃額	前年度
					15,853 円	12,890 円

5. 登録利用者数

ホーム名	第1	第2	在宅	計
契約者数	4名	1名	52名	57名
年間延べ利用者数	267名	124名	7,720名	8,111名
月平均	22.3名	10.3名	643.3名	675.9名
1日平均	1.0名	0.5名	28.7名	30.2名

6. 利用率

	開所日数	利用延数	利用率	利用契約		利用率内訳	
				新規	終了	法人内	法人外
2020年度	279日	8111名	105.3%	21名	12名	5%	95%
2019年度	282日	7163名	113.4%	21名	9名	10%	90%
前年度比	-3日	948名	-8.1%	0名	3名	-5%	5%

- ① 新規契約者 21名 (ホーム - 名、在宅 21名)
② 契約終了者 12名 (一般就労 1名、他B型事業所 1名、他サービス利用 2名、転居 1名、自己都合 7名)

7. 支援程度区分

	平均	非該当	1	2	3	4	5	6
2020年度	1.08	35名	-	10名	8名	3名	-	1名
2019年度	1.13	30名	1名	11名	5名	4名	1名	-
前年度比	-0.05	5	-1	-1	3	-1	-1	1

8. 最近の動向

- ・利用者一人ひとりの「はたらきたい」というニーズの把握に努め、個人の能力やペースに合ったサービスの提供を実施している。また、「かせぐ」「まなぶ」「いやす」活動の3本柱で、【安心して過ごせる居場所～かせぐ～B型からのステップアップ】ができる事業所として、幅広く充実した訓練、支援が行える事業所運営を図っている。
- ・利用者の増加により、7月より定員25名から30名に定員を変更したが、利用率は100%を超える結果となった。新規契約者の紹介経路は、相談支援事業所14件、ハローワーク障害者雇用専門窓口6件、精神科病院・デイケア1件となっている。前年度に続き、ハローワーク窓口からの紹介があり、今年度は生活保護受給者の就労支援ケースが3件、一般就労の経験があるが、現時点では就職が難しく福祉的就労を勧められたケースが3件であった。
- ・作業面では、就労売上額が前年度比 約100万円の増収となった。コロナ禍の影響を受けた業種の減収を受けない業種からの受託で補い、かつ繁忙期のみ企業内作業(700円/H)に対応したことによる。工賃向上を図るため、1月より作業内容を精査し、新規取引先の開拓を行い、作業内容の変更に取り組んでいる。
- ・視覚・聴覚・言語障害者の利用が平均利用者数の3割を超えた(10名)ことにより、10月より支援体制加算の算定をした。手話や筆談、作業指示書の作成、動線の確保など対象者に対する支援が他利用者に対してのより良い支援にもつながる結果となっている。
- ・コロナ禍の影響により、一般就労につなげた利用者の職場内に入り支援することができないケースが2件あり、定着支援をするに難しい状況であった。B型から一般就労へ2名移行、うち1名が一般就労移行7ヶ月後から就労定着支援利用開始。就労定着支援利用者4名のうち2名は、他事業所より一般就労した方の支援を相談支援事業所から依頼があり利用契約となった。

第1号議案 2020年度 相談支援事業所共生の里 事業報告

作成者:綿井優美
連絡先:080-3953-8309
mail:soudansien0401@gmail.com

事業所名	相談支援事業所 共生の里
サービス種類	指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所
活動期間	2020年4月1日～2021年3月31日
所在地	福岡県行橋市泉中央6丁目11番15号
事業の内容	障害者・障害児に対して自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来る様に配慮し、公正中立にサービス利用支援と継続サービス利用支援を行った。
従業員の人数	管理者1名 相談支援専門員 年度平均 1名(精神保健福祉士) ※2019年度相談支援専門員平均2.75名
登録者数の推移	登録者:131名(2021年3月末現在) ※前年比+2名(2019年3月末は129名)
計画作成数	プラン10件(月平均・前年比-4) モニタリング23件(月平均・前年比-15.5件)
収支について	※別紙参照
研修報告	理事長研修、相談部会(全4回)、障害者虐待防止研修等、個人情報保護研修、触法研修、医療ケア児等コーディネーター研修、精神障害者支援研修 全10回参加

事業所名	相談支援事業所 共生の里
サービス種類	行橋市障害者相談支援事業
活動期間	2020年4月1日～2021年3月31日
所在地	福岡県行橋市泉中央6丁目11番15号
事業の内容	①障害者相談支援業務(泉中学校区、仲津中学校区、今元中学校区) ②権利擁護業務 ③会議への参加
従業員の人数	管理者1名、相談支援専門員1名(社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士)
利用者数	月平均実人数 26名(前年比+7名)
収支について	※別紙参照
研修報告	理事長研修、相談部会(4回)、就労部会(6回)、自立支援協議会(福祉計画策定委員会)(3回)、触法研修、虐待予防研修、個人情報保護研修 全17回参加

第1号議案 2020年度 相談支援事業所 心の駅北九州 事業報告について

作成者:志賀 知並

連絡先:080-4146-9836

アドレス:shiga.soudan69@gmail.com

事業所名	相談支援事業所 心の駅北九州
サービス種類	指定特定相談支援事業
報告活動期間	2020年4月1日～2021年3月31日
所在地	福岡県北九州市八幡西区幸神2丁目3-16
事業の内容	障害者に対して自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来る様に配慮し、公正中立にサービス利用支援と継続サービス利用支援を行った。
従業員の人数	管理者1名、相談支援専門2名(内管理者兼務1名) (社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員)
登録者数の推移	登録者:219名(2021年3月末) ※前年度比……-12名 年度内新規契約者:17名
計画・モニタリング作成数	・プラン134件(月平均11.1件) モニタリング664件(月平均55.3件)
研修報告	理事長研修、内部研修(虐待防止、医療観察)、 ネットワークふらす(コロナウイルスの影響により前年より回数減少)、 基幹相談支援センター開催の研修参加(触法障害者研修)、アンガーマネジメント研修、 感染症予防研修
その他	

ゆくはし生活相談センター／担当: 西 賢治
 業務用携帯: 090-2854-6665
 メールアドレス: qqvm2ae9k@poppy.ocn.ne.jp

1. 生活困窮者自立相談支援事業

	新規	相談件数	男	女
2019年	180	3,634	80	100
2020年	634	6,209	348	286

- ・累計相談対応件数は前年比1.7倍、新規対応件数は3.5倍。
- ・初期相談のきっかけは関係機関からの紹介が圧倒的に多い。
- ・コロナ禍を背景に相談件数が異常事態に【社協貸付】。

2. 生活困窮者就労準備支援事業

	新規	相談件数	男	女
2019年	48	705	25	23
2020年	179	841	104	75

- ・新規相談件数が前年比3.73倍と急増した結果、継続支援が困難に。
- ・就労決定者数は2021年3月末現在で112件。
- ・コロナ禍を背景に失業は無論、減収相談→就労支援（貸付）の流れが確立。

3. 生活困窮者家計改善支援事業

	新規	相談件数	男	女
2019年	62	1,054	33	29
2020年	514	3,747	300	214

- ・累計相談件数は前年比3.5倍、新規対応件数も8.3倍
- ・コロナ禍を背景に収入減による社協貸付希望者が急増。改善必至な内容も消極的で、「金さえ借りれば…」との相談者が大部分な印象。

4. 社協貸付（緊急小口と＋総合支援資金）

コロナ禍対策として社協貸付の利用者が急増。緊急小口（20万）と総合支援資金（単身15万/世帯20万）を3カ月利用できるが総合支援資金はその後延長（2回目）、再貸付（3回目）と順次延長しMAXで200万借りる世帯が登場。

本年度の利用状況は緊急小口169名、総合1回目255名、総合2回目186名（不承認27.4%）、総合3回目37名（不承認32.4%）と貸付回数が増加すると不承認率も上昇。多くの世帯が返済余力はない印象。

5. 福岡ライフレスキュー事業

- ・本年度は京築地区管内で事業利用ケースに至った事例は発生せず。
- ・事業所職員がファシリテーターとして第5回フォローアップ研修を担当(10月に2回)。

6. 認定生活困窮者職業訓練事業

- ・2019年7月に県より、「そよ風GH」「豊津GH」「夢活動」「夢活動秋桜」の4拠点が就労訓練事業所として認可を受けるも本年度も昨年度に続き、コロナ禍を反映し利用実績に繋がらず。

7. その他（2021【令和3年度】の方向性）

- ・コロナ禍の影響は甚大で、終息が見えない状況が継続中の為、相談対応に途切れがない。
- ・2020年8月に事業所が「ウィズゆくはし」内に移転後、障がい者基幹型支援+成年後見と一体化した支援拠点の一翼を担う。
- ・来年度（2022年）の事業はプロポーザル形式にて公募をおこなう旨の内示を受けている状況。
- ・職員体制は全6名（支援員5名+事務員1名）。

第1号議案 2020年度 キートス幸神 事業報告書

作成者:前原善泰

連絡先:080-3226-0233

アドレス:maehara5611@gmail.com

1. 事業所名 キートス幸神
 2. サービス種類 無料低額宿泊所/日常生活支援住居施設(第2種福祉事業)
 3. 住所 北九州市八幡西区幸神2丁目3番16号
 4. 利用者状況 ①平均利用者数 20名(自立準備ホーム1名)
 (定員23名) ②年間平均利用率 87%(前年度は83%)
 ③入居前・退去後の居住の状況

入居前	人数	前年度人数	退去後	人数	前年度人数
ホームレス	13	8	単身生活	14	10
在宅生活	10	5	グループホーム	7	6
精神科病院	1	4	高齢者施設	2	3
労役所・留置所	1	3	精神科病院入院	3	2
グループホーム	1	0	知人宅	0	2
少年院	0	1	救護施設	2	1
宿泊型生活訓練施設	0	1	家族同居	2	1
シェルター	2	1	社員寮	2	1
刑務所	0	1	学生寮	1	0
更生保護施設	2	0	自立支援センター	1	0
社員寮	3	0	行方不明	1	1
救護施設	1	0	死亡	0	1
自立援助ホーム	1	0			
合計	35	24	合計	35	28

④入居相談元

紹介元機関	人数	前年度人数
生活保護課(ケースワーカー)	23	9
精神科病院	2	7
保護観察所	3	2
他関係機関	6	3
いのちをつなぐネットワーク係(生活困窮)	1	3

⑤日中活動の状況(R2年3月)

(人数)

未決定	15
就労継続支援B型	1
一般就労	1
就労継続支援A型	1
精神科デイケア	1

⑥障害の有無

障害の割合52%

(人数)

なし	9
精神障害	6
知的障害	3
身体障害	1

- 5.職員配置 施設長 1名 ※専従
 (R2.10~15:1基準) 生活支援員 4人 ※GHと兼務
 栄養士 1名 ※GHと兼務

※夜間帯はGHスタッフの当直が一体的に緊急時に対応。

6.その他

第1号議案 2020年度 訪問看護ステーションタック幸神 事業報告書

作成者：小濱 直也

電話番号：070-1940-6833

Email：asagi.kohama@gmail.com

1.職員体制

職名	資格	常勤	非常勤	合計	業務内容
管理者	看護師	1名	0名	1名	看護従業者及び業務の管理
看護職員	看護師	6名	1名	7名	看護従業者
常勤換算	6.4名（基準2.5名）				

2.契約者数・実績

	新規契約者数			総契約者数 (名)	訪問件数 (平均 件/月)	医療保険 (名)	介護保険 (名)
	法人内紹介	法人外紹介	合計				
2017年度 (17.8~18.3)	17	2	19	18	60	18	0
2018年度 (18.4~19.3)	15	4	19	36	118	36	0
2019年度 (19.4~20.3)	15	9	23	50	181	49	1
2020年度 (20.4~21.3)	40	18	58	95	338	93	2

3. 訪問看護実施内容

バイタルサイン	服薬の管理	療養生活の指導	人工肛門パウチ交換
創傷処置	自己導尿指導	血糖測定・インスリン注射指導	作業療法

3. 教育・研修

参加研修件数	6件
法人内研修	2件
医療・看護系	4件
障がい・福祉系	0件
その他	0件

4.総括

<p>契約者件数は順調に伸びている。行橋地区の詰所設立により京築での展開も可能になった。</p> <p>事務員1名看護職員4名補充。さらに人員が必要な状況であり、訪問件数の増加とともに事業所の増加を行い必要な看護を展開していく。</p>
--

第1号議案 2020年度 介護事業所 事業報告書

作成者：宮本 陽子

1. 介護事業所（5つ共通）の1年間の目標

抱え上ない介護（ノーリフティングケア） → まだまだ奥が深いと感じた。全職員が必要性を理解し、統一した認識を持つことが必要。更なる取り組みが必要である為、継続して取り組む。

- ① 入居者様は抱え上げの際に身構えずにすむため、筋肉の緊張がなくなり、拘縮の改善予防に繋がる。
- ② リハビリの効果が打ち消されることがない。
- ③ 褥瘡の改善や発症を防げる。
- ④ 表皮剥離や打撲が減る。
- ⑤ 介護職員の肉体的負担の軽減となる。
- ⑥ 職員の腰痛等の職業病や労災事故の回避になる。
- ⑦ 職員が年齢を重ねても長く働ける環境を作る事で、人員不足にならない職場となる。

職員の資質の向上と研修 → オンライン研修の活用、今後は、指導者がいなくてもできるようにする。事業所研修計画、個別研修計画で目標を立て、研修を実施し、1年後に達成する。

- ① オンライン研修への参加 ② 法人内部研修への参加 ③ 職員の資格取得の為の取り組み

ほめ言葉のシャワーの実施 → 職員間の理解、離職率の低下につながっている。今期も継続する。

菊池省三先生の誉め言葉のシャワーを会社で実施し、職員同士が認め合える関係を作る事で、自信を持って働き、成長することができる。

2. 事業所別

事業所名	目標→結果	事業所別の1年間総括
グループホーム 愛の家	入居率 95% ↓ 94.5%	目標値にわずか届かず。看取り2名行う。施設長の指示を1つ1つ受けなくても管理者・主任の元、業務を円滑に行えるようになりつつある。成長の見える職員とそうでない職員と別れている。
有料老人 ホーム虹の家	入居率 93% →93.5%	目標値達成。看取り2名行う。今まで限られた職員しかできなかった業務をできる職員が増えてきている。まかせられる業務幅が増えている。
デイサービス 虹の家	利用率 90% ↓ 83.2%	目標値に少し届かず。在宅の利用者を受入れ、困難ケースであったが、職員の成長につながった。職員の定着が進み、自ら企画し楽しく過ごせる工夫ができています。
訪問介護 虹の家	訪問時間 300→311.1	目標値超えた。リフト導入に伴い、職員の技術向上でき、重症者のケアがスムーズに行えるようになってきている。
ケアプランセンター 虹の家	利用者 18人 →20人	目標値達成。職員異動し、半年経過。外部からの依頼もあり、ご家族と連携が出来ている。新たなケアマネジャー資格取得促す。

3. 助成申請希望（福祉車両、設備改修）、今期助成先を検索後、申請する。

- ・「グループホーム愛の家」現在使用中の車いす対応の軽自動車は18年目を迎え、修繕に修繕を重ねており、壊れる前に、導入希望。（2020年ALSOKありがとう財団申請するも落選）
- ・「デイサービス虹の家」現在使用中の車いす対応の軽自動車は15年目を迎え、修繕に修繕を重ねており、壊れる前に、導入希望。（2020年日本財団申請するも落選）